

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 24日

中施策事業名	病後児保育事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	緊急時に対応できる体制を整える		
④中施策事業の対象	病後児童及びその家族等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	児童の病後にも安心して預けられるところがあるということが広く知られ、必要時に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 病後児保育室事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
病後児保育室の登録人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	150	150	150	0	0	0
	実績値	80	70				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				7,558千円	6,770千円		
	a 事業費合計			7,558千円	6,770千円	7,248千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				3,090千円	3,510千円
③ コスト (①－②)				4,468千円	3,260千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				65 円	47 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>子どもを安心して生み育てられるまちを目指す上で、病後児保育を実施することは必要不可欠な事業であるにとらえている。</p> <p>令和6年度には延べ53名の利用があり、必要としている人がサービスを利用できている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>「広報とよあけ」及び市ホームページ、施設案内等を記述したリーフレットを活用し、継続的な周知活動が求められる。</p> <p>また、名古屋市との「病児保育事業における広域受入にかかる相互利用協定」を締結し、市ホームページなどで周知していく。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>「広報とよあけ」及び市ホームページ、施設案内等を記述したリーフレットを活用し、継続的な周知活動を行なっていく。</p> <p>また、開設予定である桜花クリニックに病児・病後児保育事業を委託し、さらにサービスを拡大していく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 12日

中施策事業名	認可外保育施設事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	認可外保育サービスを必要とする人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	認可外保育サービスを必要とする全ての人がサービスを受けることができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 認可外保育施設の運営に対する補助事業 ・ 認可外保育施設の指導監査		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
認可外保育施設の入園実績人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	40	40	40	0	0	0
	実績値	24	26				
	単位	人					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				12, 641千円	11, 989千円	
	a 事業費合計			12, 641千円	11, 989千円	16, 994千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				7, 649千円	7, 297千円	4, 270千円
③ コスト (①－②)				4, 992千円	4, 692千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				73 円	68 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>待機児童解消のためには、認可保育所における利用定員の拡大を図るとともに、認可外保育施設による児童の受け入れ確保が求められている。</p> <p>このことから、認可外保育施設の運営に要する経費の補助を行う中で受入確保を図るとともに、適切に保育運営がなされているかの指導確認（監査）を行う必要がある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設への補助金は、今後も国県支出金（特定財源）を活用する中で適切に交付を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、認可外保育施設への補助を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 24日

中施策事業名	保育所等整備事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	今後保育所等を利用しようとする者及び保育所等整備事業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者がより多くの選択肢の中から保育所等の利用を選択できるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	市立保育所等の管理、教育・保育施設等の整備、地域型保育事業の認可、地域型保育事業の指導監督		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保育所等の利用定員数（10月1日時点）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	1,778	1,707	1,707	0	0	0
	実績値	1,718	1,725				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				159, 044千円	284, 181千円	
	a 事業費合計			159, 044千円	284, 181千円	239, 099千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				5, 056千円	177, 766千円	195, 651千円
③ コスト（①－②）				153, 988千円	106, 415千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2, 238 円	1, 546 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 子どもを安心して産み育てられるまちをつくるために、計画的な保育施設の整備を行う中で利用定員の拡大を図ることは待機児童解消に必要不可欠な取り組みである。このような中で、待機児童解消のため、私立の保育園や認定こども園などを整備するなどして利用定員の拡大を図ってきた。令和6年度は、民間保育園において定員拡大のための整備の補助を行い、幼稚園から認定こども園への移行（令和7年4月開園）の支援も行った。このほか、公立保育園の老朽化対策として、保育室や外壁などの改修工事（館保育園）を実施した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和8年4月から幼稚園から認定こども園へ移行を支援し、定員拡大のための工事の補助をしていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	老朽化する公立保育所のあり方を検討していく。 公立保育所の老朽化した遊具の更新を行っていく。 待機児童解消のため、既存認定こども園の定員拡大のための工事の補助を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 12日

中施策事業名	保育所等運営事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象	保育所等の利用者及び保育所等運営事業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	質の高い保育が提供されており、保育所等の利用者が安心かつ快適に利用できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	保育所等の入所、教育・保育給付、市立保育所の運営、保育士の管理及び研修、保育料及び利用者負担額、保育所等への補助金、幼稚園への補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
待機児童数（潜在的待機児童数を含む。10月1日時点）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	70	60	50	0	0	0
	実績値	173	177				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				1, 926, 561千円	2, 299, 773千円	
	a 事業費合計			1, 926, 561千円	2, 299, 773千円	2, 506, 419千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				1, 125, 851千円	1, 316, 075千円	1, 320, 175千円
③ コスト (①－②)				800, 710千円	983, 698千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				11, 635 円	14, 294 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>計画的な施設整備などにより、国基準に基づく待機児童数は発生していないが、評価指標の「待機児童数（潜在的待機児童数を含む。10月1日時点）」は、前年度より数値が増加し、改善がなされていないのが実態である。潜在的な待機児童の解消に向けて、老朽化する公立施設の在り方を検討するとともに、計画的な施設整備などを行うなかでさらに利用定員の拡大を図っていく。また、医療的ケア児の受入れを可能とする体制を整備していき、保護者や保育士の負担軽減を図る目的で、公立保育園のICT化もさらに推進していく。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	潜在的な待機児童の解消のため、「子ども・子育て支援事業計画」に沿って老朽化する公共施設の在り方を検討するとともに、計画的な施設整備を行うなかで利用定員の拡大を図っていく。また、公立保育園のICT導入後の効果についての検証や令和8年度から実施を控えている「乳児等通園支援事業」の導入について例規等の整備を進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	潜在的な待機児童の解消のため、「子ども・子育て支援事業計画」に沿って老朽化する公共施設の在り方を検討するとともに、計画的な施設整備を行うなかで利用定員の拡大を図っていく。また、乳児等通園支援の導入後の検証を進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 15日

中施策事業名	女性の復職支援プログラム事業	部課名	健康福祉部・こども保育課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている		
②大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる		
③中施策	職場や地域において女性の活躍の場を増やす		
④中施策事業の対象	潜在保育士、保育士を目指そうと思っている人、地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持っている人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の保育園等に安心して子どもを預けることができ、職場や地域で活躍できると考えている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 保育士資格取得支援補助金事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
プログラムを利用して復職した人の数（隔年実施）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	5	0	5	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						
保育士資格取得支援補助金を利用した人の数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4	4	4	4	0	0
	実績値	2	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				57千円	0千円	
人 件 費	a 事業費合計			57千円	0千円	40千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				57千円	0千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				1 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 子育て支援員研修は、令和6年度は実施予定ではなかったが、女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくるには、施設等で就職するための資格取得（子育て支援員）を支援することは重要な取り組みである。 保育士資格取得支援補助金は、令和6年度には利用がなかった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	保育士資格取得のための補助や潜在保育士の復職支援をしていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、子育て支援員の資格を取得した人材をいかに就労につなげていくかを模索していくとともに、保育士資格取得のための補助を継続していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等